



福岡県立山門高等学校

山門向窓会だより

2018年度**22**号 2019年度**23**号 合併号

2019.5.1発行

【ご案内】

- ① 今年度同窓会育成会報費(年1,200円)のご協力を頂いた方には来年度も会報をお届けします。
 - ② 来年度の会報は同窓生の皆様の活動を沢山掲載する予定ですので、事務局まで情報を寄せ下さい。
 - ③ インターネットの山門高校同窓会公式ホームページをご覧下さい。

祝 山門高校同窓会創立61周年(還暦)記念特集号

2018年度卒業生入会 147名
同窓会会員累計数 23,675名

現在選良として活躍している山門高等学校同窓生

 <p>柳川市長 金子 健次 (昭和42年卒)</p>	 <p>衆議院議員 藤丸 敏 (昭和53年卒)</p>	 <p>自由民主党元幹事長 全国道路利用者会議 会長 古賀 誠 (昭和34年卒)</p>	 <p>福岡県議会議員 板橋 聰 (昭和61年卒)</p>	 <p>みやま市長 松嶋 盛人 (昭和47年卒)</p>
---	---	--	---	--

同窓生と母校と同窓会の絆を大切に！

会長 板橋 元昭

山門高校同窓生の皆さん今日は！皆さんにはそれぞれの地域で元気な活躍のことと存じます。

さて、私達の母校山門高校の同窓会はこの度創立六十一周年（学校創立より四十五年遅れ）を迎えました。人で言えば還暦です。現在の会員数は平成三十年度卒業生百四十七名の加入で二三、六七五名になりました。

かたや最近の急激な少子化の社会現象は学校現場を直撃し最盛期には一学年四百名の定数であつた私達の母校は今や往時の四割一学年百六十名まで定数減になりました。

同窓会は今日まで皆さんのご協力で順調に推移し本部をはじめ平成十三年に活動を再開した関東支部福岡支部も元気に活動を行っています。しかし母校の生徒数が激

「令和」新時代の幕開けの中で、「至誠、信愛、創造」のわが学び舎も、創立百七年目の春を迎えた。

同窓会の皆様には、日ごろから母校の充実、発展に対しまして、格別のご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げますとともに、この度、同窓会創立六十一周年を迎えたことをお祝いを申し上げます。

私はこの度の人事異動により、金丸校長の後任として着任いたしました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。私はこれまで山門高校には、昭和五十七年度に新規採用として七年間、平成二十一年度には教頭として、そしてこの度、校長としてと、三度の勤務をする機会をいただきました。このように、私にとりましては、教師生活の節目に育てていただいた学校の目です。節目に育てていただいた学校申すまでもなく、本校は各界で活躍される先輩方を輩出し、これ

睦と福祉②母校の発展に寄与の二点であります、例年五月三日の本部総会（出席千名超）、四月第二（土）の福岡支部総会（出席約百名）、九月末の関東支部総会（出席約百名）はそれぞれ盛会裡に行われており、会員相互の親睦と福祉（目的①）に貢献しております。

しかし母校の発展に寄与（目的②）することは全会員の「母校を想う」心が一つにならないと盛り上がりません。

そこでこの度、同窓会創立六一周年記念会報「山門同窓会だより」特集号を発行し全会員に配布します。青春期の三年間を過ごした母校に想いを馳せていただき「同窓生と母校と同窓会の絆」を更に強固なものとし大切にしたいと考えています。

会員の皆さんのご理解とご協力ををお願いするところです。

は過去のことなどまるのではなはなく、今現在の教育活動が人財を育て磨き上げています。三年間の教育活動をとおして、地域を愛し、さる三年間を送ることができる、みやま市になくてはならない「人財育成拠点」としての県立高校であります。

本校は、来年度から八年間の予定で校舎の全面改築に着工いたしますし、三年後には学校創立百十周年の大好きな節目を迎えるといふ勢いの中にあります。私自身も山門高校に育てていただきしたことへの感謝の気持ちを持つ者として、本校の大前進のために全力投球いたしますので、同窓の皆様には母

と、結びに、同窓会の益々のご発展と、会員の皆様の益々のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、挨拶といたします。

長や金丸校長先生にも出席いただき、地元福岡からも同窓生がかけつけてくれました。出席者は約七十人ほどでしたが、現役の大学生も交じって、テープル対抗の「山門高校何でも検定試験」などで大変盛り上りました。

現在の関東支部の抱える課題は、関東地区同窓会の掘り起こしと現役で働く世代の同窓会への参加です。職場、地域との付き合いにおける母校の同窓会の魅力を伝える参加してもらうためには何をしたらいいか、関東支部でも試行錯誤を繰り返しながら活動を続けています。

私は、フェイ・スプックの関東支部ホーミムページもリニューアルする予定です。同窓生の皆さんのご参加、ご連絡をお待ちしています。

創立記念特集号の発行と全会員配布の趣意をご理解の上過分のご協賛を頂いた皆様の顕彰ご芳名 (左よりアルファベット順)

創立記念特集②の先行企画と芸能配布の趣意と理解の上過分のご協賛を頂いた皆様の顕彰と方名(右より左順)											
板橋元昭	板橋靖子	金子愛子	江崎俊介	白秋ゆかりの酒	料理用清酒・酒塩						
板橋聰県議内	菊美人酒造株	金子健次市長内	昭和三十二年卒	傘寿記念同期会	代表 菊次加代子	山門高校同窓会	関東支部	古賀誠	元衆議院議員	阪本一平	第七回ものづくり日本大賞受賞
(株)池泉池田屋	(昭32卒)	(昭32卒)	(昭32卒)	(昭32卒)	(昭34卒)	(昭34卒)	(昭46卒)	(昭34卒)	(株)田名部製作所	(昭32卒)	精密板金加工の技術者集団 田名部秀世
山門高校亮店	藤丸敏代議士内	山門高校同窓会	山門高校食堂	中野政弘	高尾一行	福岡支部	松藤修一	藤典子	山門高校亮店	山門高校同窓会	山門高校亮店
支部長 林大祐	(昭53卒)	支部長 林大祐	(昭43卒)	藤丸敏代議士内	(昭41卒)	(昭34卒)	(昭34卒)	(昭34卒)	(株)田名部製作所	(昭34卒)	(株)田名部製作所



同窓会総会の歴史と母校体育館に招聘した 「スヌード」講演（講師の出、

校体育館に招聘した 記念講演・講師の紹介



▲母校創立100周年記念事業・山門高校正門



▲平成30年9月20日 昭和32年卒 爰春記念同期会(於)瀬高正龍館



同窓生の動き

「同窓会だより」特集号の発行と全会員配布事業の趣意にご協賛を頂いた皆様の小名刺型広告一覧									
大木 實 (昭45卒)	田中清樹 (昭45卒)	島添信生 (昭45卒)	江上慎介 (昭45卒)	江上昂介 (昭37卒)	酒井茶舗 酒井宏充	祝 同窓会創立61周年 記念発行 昭和28年卒業 歴代役員一同 (世話人代表 壇 信行)	昭和27年卒 同期生 長正通	松嶋久子 (昭53卒)	創立記念特集号の発行と 全会員配布の趣意をご理 解の上過分のご協賛を頂 いた皆様の顕彰ご芳名 (前頁より続くアイウエオ順)
鷹尾レイ子 昭和三十二年卒	昭和35年卒 同期会一同 同窓会副会長 与田 久之 評議員 野田 力 評議員 石橋タマキ			昭和34年卒 同期会 世話人代表 柴田 薫 世話人一同	昭和33年卒 同期会一同			松嶋久子 (昭53卒)	お客様に選ばれ続けて三十五年 松嶋 盛人 市長内
昭和53年卒 還暦記念 同期会一同 (世話人代表 坂田 憲泰)		瀬口義夫 瀬口開発株 (昭和四十六年卒)	高尾謙一 (昭和四十六年卒)	高田喜道 瀬高町上庄 (昭和三十二年卒)	祝 同窓会創立61周年 昭和42年卒業 同期会一同	松嶋久子 峻 (昭38卒)			株大黒屋



注 この名簿は(2016.5.3～2019.5.3)任期
(2019.5.3～2022.5.3)任期は役員が若干動く可能性あり
2019.4.25の理事会評議員合同会議で決定する。

山門高等学校同窓会役員一覧

備考①空白…逝去・後任届なし ③△代表推薦1人のみ
②アミ掛…辞任申出有・後任推薦なし

特 別 役 員			役 員				役 員				準 役 員			
名 譲	会 長	古 賀 誠	卒 業 年	学 年 推 薦 理 事	学 年 推 薦 評 議 員 (男)	学 年 推 薦 評 議 員 (女)	卒 業 年	学 年 推 薦 理 事	学 年 推 薦 評 議 員 (男)	学 年 推 薦 評 議 員 (女)	卒 業 年	卒 業 時 同窓 会 担 当 クラス 役 員	学 年 代 表	
名 譲	会 長	古 賀 誠	S 34	S 24			本 田 俊 子	S 49	横 尾 健 一	松 尾 喜 博	桜 木 博 子	H 9	乙 丸 法 道	岩 崎 寿 子
役 員	役 員	役 員	S 32	S 27	長 正 通	橋 本 テル子	S 50	越 智 明 彦	大 津 一 義	上 津 原 登 美 子	H 10	東 原 稔	田 島 み ゆ き	
会 長	板 橋 元 昭	S 32	S 28	壇 信 行	野 口 寿 男		S 51	川 島 一 美	大 津 光 若	野 田 千 春	H 11	内 山 毅	田 中 久 美 子	
副 会 長 (関 東)	松 尾 紀 彦	S 46	S 29	辺 春 英 雄	石 橋 勉	今 村 サツキ	S 52	角 和 広	山 下 賀 久	深 町 真 由 美	H 12	中 村 仁	阿 部 利 江 子	
副 会 長 (福 岡)	林 大 祐	S 53	S 30	野 田 時 雄	中 村 信 子	S 53	坂 田 憲 泰	杉 浩 一	弥 永 裕 美 子	H 13	△	坂 井 亜 衣		
副 会 長	鷹 尾 レイ 子	S 32	S 31	松 尾 ミチ 子	水 原 清	藤 木 正 代	S 54	金 田 英 稔	本 園 明	山 口 喜 久 子	H 14	堤 栄 太	△	
副 会 長	与 田 久 之	S 35	S 32	板 橋 元 昭	高 田 喜 道	鷹 尾 レイ 子	S 55	徳 永 勉	田 中 裕 樹	末 松 輝 美	H 15	△	飯 島 瑠 美	
副 会 長	竹 井 澄 子	S 41	S 33	千 田 忠 雄	徳 永 俊 一 郎	坂 田 か ほ る	S 56	坂 田 良 二	江 崎 良 二	長 範 子	H 16	井 手 口 圭 孝	△	
副 会 長	山 内 一 明	S 44	S 34	柴 田 薫	西 原 元 久	瀬 口 茂 登 子	S 57	樋 島 博 規	古 田 稔	江 上 孝 子	H 17	石 橋 守 史	塚 本 尋 子	
副 会 長	田 崎 剛	S 48	S 35	与 田 久 之	野 田 力	石 橋 夕 マ キ	S 58	松 尾 泰 弘	山 田 利 長	待 鳥 信 子	H 18	甲 斐 田 裕 治	古 賀 三 也 美	
校 内 理 事 書 記	富 重 雅 晴	S 53	S 36	野 田 公 明	釤 嶋 忠 治	小 川 律 子	S 59	宮 崎 一 誠	石 橋 元 康	古 賀 加 代	H 19	黒 川 真 冊	今 村 由 香	
校 内 理 事 会 計	荒 木 秀 文	S 56	S 37	樺 島 正 文	池 上 雄 三	黒 田 陽 子	S 60	江 崎 善 隆	中 村 健	石 橋 由 子	H 20	川 津 英 史	大 久 保 杏 奈	
校 内 理 事 書 記	石 橋 洋 一	S 57	S 38	松 尾 正 己	石 橋 信 昭	村 石 絹 子	S 61	板 橋 聰	松 尾 良 介	辺 春 容 子	H 21	野 口 耕 平	只 隅 理 奈	
校 内 理 事 書 記	中 村 健	S 60	S 39	藤 木 昭 義	市 薩 正 實	太 田 黒 初 枝	S 62	井 口 秀 成	和 泉 修 二	森 田 明 美	H 22	千 々 和 理	島 添 咲 子	
監 事	中 島 憲 一	S 52	S 40	板 橋 正 勝	河 野 竹 美	今 福 茂 子	S 63	坂 田 光 博	上 田 恽 範	橋 本 知 美	H 23	久 富 真 道	△	
監 事	田 中 俊 治	S 45	S 41	山 口 孝 司		竹 井 澄 子	H 1	河 野 一 仁	平 田 哲 也	原 田 フミ 子	H 24	北 島 祐 資	武 藤 麗 央 奈	
監 事	松 尾 良 介	S 61	S 42	山 城 正 義	中 島 憲 一	古 江 雅 子	H 2	松 尾 恵 次	熊 川 俊 介	徳 永 憲 香	H 25	中 村 豪 志	千 田 菜 々 美	
顧 問	井 上 正 明	S 47	S 43	川 口 千 利	大 江 清 志	石 橋 哲 夫 (男)	H 3	松 尾 剛	黒 木 雄 平	河 野 淳 子	H 26	森 友 喜	石 橋 麗 奈	
参 与	参 与	参 与	S 44	山 内 一 明	河 野 平	富 安 佳 代 子	H 4	岡 本 齐 直	金 子 博 康	河 野 美 咲 子	H 27	諸 富 豪 隆	板 橋 京 子	
理 事 会 準 品 後 顧 問	長 俊 一	校 長	S 45	江 上 慎 介	田 中 俊 治	大 木 邦	H 5	横 尾 和 博	市 園 広 孝	吉 田 衣 実	H 28	奥 田 歩	春 山 陽 菜 乃	
会 議 彙 管 理 者	高 田 博 行	教 頭	S 46	瀬 口 義 夫	高 尾 謙 一	中 尾 真 知 子	H 6	橋 本 憲 之	三 小 田 雅 裕	藤 丸 晴 美	H 29	山 浦 有 智	藤 木 公 佳	
会 計 管 理 者	小 田 雅 子	事 務 長	S 47	本 多 賢 次	梶 山 忠 男	前 田 敦 子	H 7	中 川 輝 茂	坂 井 靖 典	古 賀 優 子	H 30	野 片 桃 香	△	
同 総 会 事 務 担 当	今 村 美 洋 子	S 49	S 48	田 崎 剛	徳 永 重 遠	江 口 さ だ 子	H 8	弥 永 陽 一	金 子 慎 大 郎	緒 方 幸 子	(学 年 代 表 のみ クラス 役 員 は 未 損 戻)			

理事・評議員は満40才の時当番学年として総会実行委員会担当後同期生より推薦された方々で同総会のお世話を頂く皆様です。
(諸般の事情で理事・評議員・クラス役員を辞任される際は同期生の中より本人のご了解をえて後任のご推薦をお願いします)

平成30年度 合格状況 (延べ人数)

平成31年3月28日 現在

種別	大学・企業	人数	種別	大学・企業	人数	種別	大学・企業	人数	種別	大学・企業	人数	種別	大学・企業	人数
国公立大 (計15名)	九州大	1	私立大	文京学院大	1	私立大	福岡女学院大	1	私立大	立命館アジア太平洋大	1	専門学校 (計8名)	西鉄国際ビジネスカレッジ	1
	山口大	2		立正大	1		筑紫女子学園大	5		別府大	2		西日本アカデミー航空専門学校	1
	九州工業大	1		女子美術大	2		福岡国際医療福祉大	2		南九州大	1		麻生外語観光&製菓専門学校	1
	佐賀大	4		同志社大	3		帝京大	10		中村学園大短大部	6		福岡美容専門学校	1
	大分大	1		立命館大	1		聖マリア学院大	4		福岡工業大短大部	1		公務員ビジネス専門学校	2
	宮崎大	1		関西大	2		純真学園大	2		佐賀女子短大	1		東京アカデミー福岡校	1
	長野大	1		近畿大	2		久留米工業大	10		西九州大短大部	1		大牟田高等技術専門校	1
	北九州市立大	2		大阪芸術大	1		九州共立大	1		古賀国際看護学院	2		国家一般	3
	長崎県立大	1		徳山大	2		九州栄養福祉大	1		大川看護福祉専門学校	2		刑務官	1
	宮崎公立大	1		西南学院大	13		第一薬科大	3		福岡県私設病院協会看護学校	1		裁判所	1
大学校	防衛大学校	1		福岡大	54		保健医療経営大	3		福岡水巻看護助産学校	1		福岡県職	3
私立大 (計228名)	明治大	1		中村学園大	29		崇城大	13		麻生看護大学校	1		福岡市消防	1
	中央大	2		福岡工業大	17		九州看護福祉大	3		久留米歯科衛生専門学校	1		みやま市役所	1
	法政大	2		久留米大	20		東海大	2		久留米大附属臨床検査専門学校	1		自衛官候補生	2
	フェリス女学院大	1		九州産業大	3		平成音楽大	1		福岡医療専門学校	1	就職	三池港物流株式会社	1
	工学院大	1		国際医療福祉大	4		西九州大	1		福岡天神リハビリ専門学校	1			

進路指導部 学習指導課より

進路指導課主任 吉川弘泰

同窓会の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年度は、ASCA（アスカ）基金のご支援により、二学年生徒が、「次世代リーダー養成塾」に二名、「ふくおか高校生知の創造塾」に七名参加させていただきました。実際にこの活動に参加した生徒は、著名な方々からの講演を聞いたり、多様な考え方や志を持つた高校生と議論を交わしたりすることで、自分自身を振り返り、課題を見つけることができたようです。三学期の始業式には全校生徒の前で報告会を実施し、同級生や後輩の前で堂々とした発表会をしてくれました。この経験を通し、今後社会で活躍できる人材になると私どもも期待しております。また、一昨年に引き続き、昨年度も一学年生徒対象に、メンター制度を採用し、八名の同窓生の方々にご協力いただきました。ご経験豊富な同窓生の方から、直接ご助言や励ましの言葉をいただき、お話を伺つた生徒も大変感謝しております。ご支援ご協力ありがとうございました。

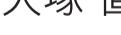
さて、平成三十一年度入試は国公立大学は、九州大学をはじめ、十四名の合格を果たしました。私立大学は、明治大・中央大・法政大・同志社大・関西大・立命館大等、生徒が関東や関西の私立大にも目を向けたことにより、合格者が増加しています。公務員については、国家一般を含む十二名が最終合格をいただきました。

本年度も、本校生徒一人ひとりを大切にした進路指導を続けていく所存です。特に従来の進路指導だけでなく、学ぶ意欲や向上心、思考力等を養うために生徒一人ひとりが自分の探究心を基に「探究活動」に取り組んでいます。これからも同窓会の皆様のお力添えをいただく場面があるかとおもいますが、どうぞご協力ご鞭撻をいただきますよう、お願い申し上げます。

學習指導部 進路指導課より

進路指導課主任

「同窓会だより」特集号の発行と全会員配布事業の趣意にご協賛を頂いた皆様の小名刺型広告一覧

コウフ・フィールド 株式会社 福岡市博多区東那珂2-19-25 昭和60年卒 加治木(瀬口)美紀		頑張れ卓球部 昭和五十年卒 卓球部OB	昭和五十年有志の会 山わらべ会 母校の発展を 祈念します	昭和49年卒 同窓会事務局 今村 美津子	昭和44年卒 卒業生一同	昭和36年卒 同期会一同
平成8年卒 同期会一同	昭和58年卒 有志一同			昭和56年卒 同期会一同 光延俊一 坂田良二 江崎良二 長範子		タカ食品工業株式会社 代表取締役社長 大塚直 (昭和44年卒) facebook 



すべてをオーダーメイドできる仕立屋
スーツ・シャツ・靴
KUROKI BESPOKE ROOM

旅行にすることなら何でもご相談下さい！
40年の実績と信頼あなたの旅をプランニング！

九州トラベル株式会社

【ご予約・お問い合わせは】 **TEL0944-76-0556**



代表取締役社長 大塚 直 (昭和44年卒)

facebook



<https://www.facebook.com/takafoods.co.jp>

【本社】
〒835-0023 福岡県みやま市瀬高町小川1189-1
TEL 0944-62-8161 FAX 0944-62-7567